

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年6月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 6 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	6月1日～30日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	6月6日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

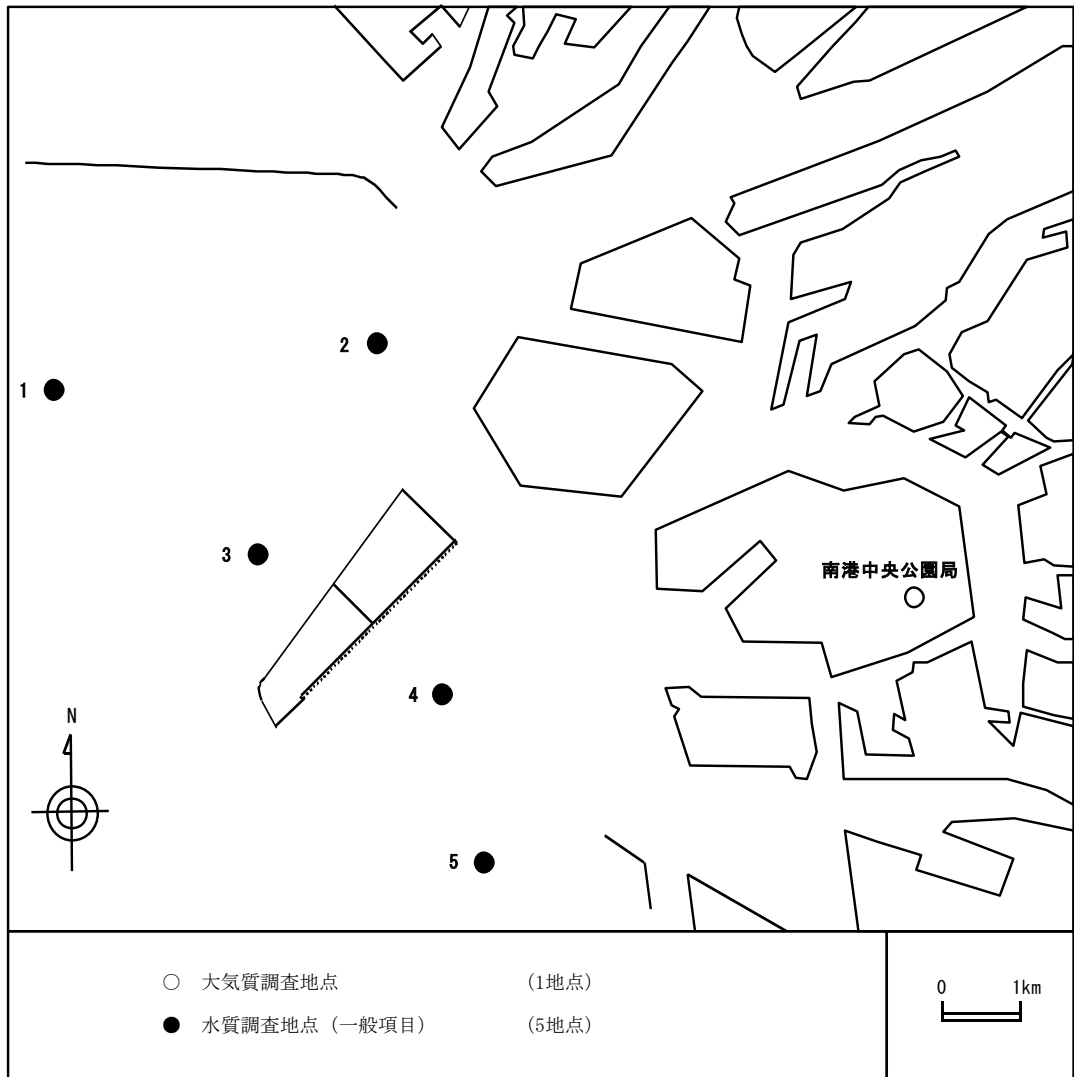
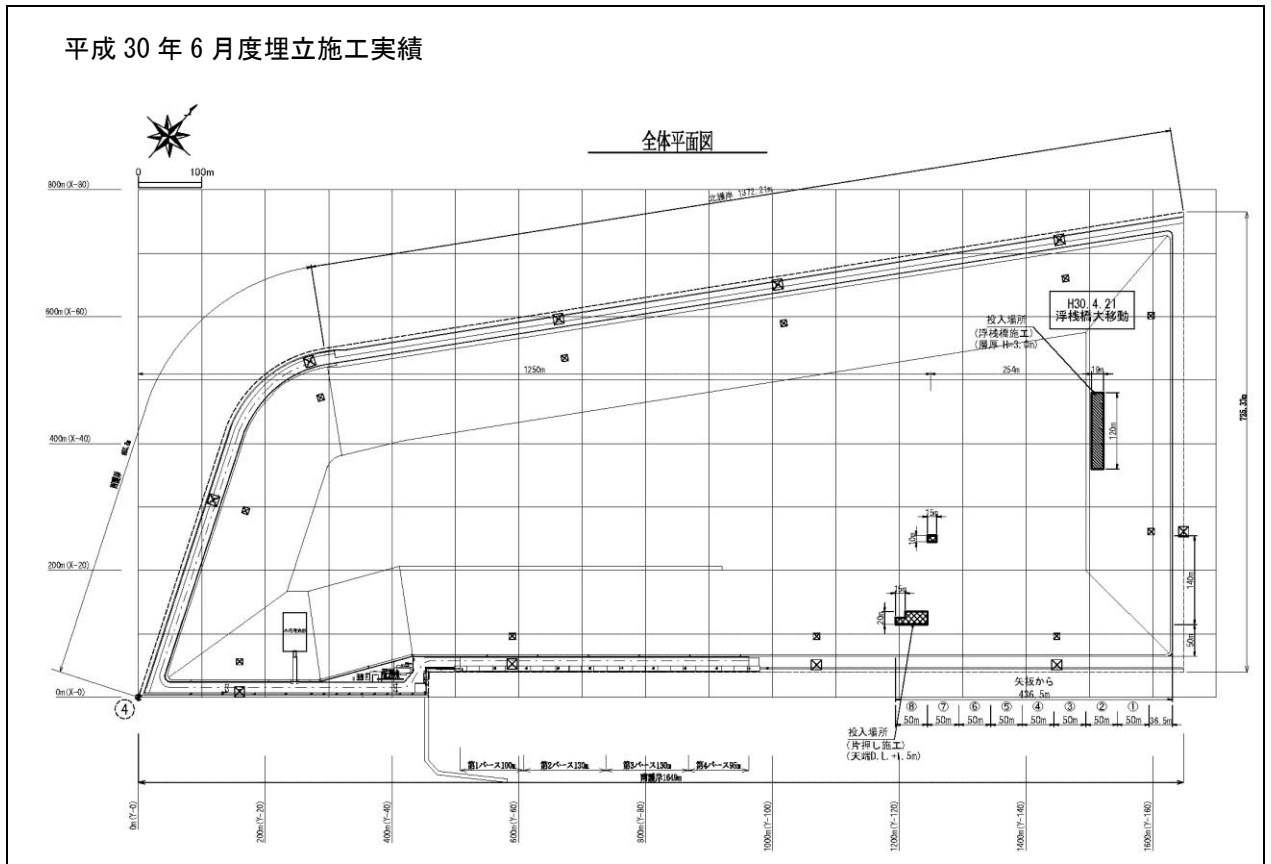


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

平成 30 年 6 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
4,592,191	32.9

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppmであった。また、日平均値の最高値は0.010ppm、1時間値の最高値は0.023ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.019ppmであった。また、日平均値の最高値は0.035ppmであり、環境基準を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.030mg/m³、1時間値の最高値は0.046mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.3、下層で7.9～8.0であり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.9～4.2mg/L、下層で1.5～2.4mg/Lの範囲であり、上層では調査地点1、2、3、4において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1 (4.0mg/L)、調査地点2 (4.2mg/L)、調査地点3 (3.1mg/L)、調査地点4 (3.1mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で6.9～9.3mg/L、下層で3.7～6.5mg/Lの範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点1、2、4で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層における調査地点1 (4.3mg/L)、調査地点2 (3.7mg/L)、調査地点4 (4.9mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は下層で0.6～11mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によ

るものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.37～0.88mg/L、下層で 0.26～0.38mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.88mg/L)、調査地点 2 (0.81mg/L)、調査地点 4 (0.61mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.031～0.10mg/L、下層で 0.020～0.098g/L の範囲であり、上層では調査地点 2、4 において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1、2、4 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.061mg/L)、調査地点 4 (0.10mg/L)、下層における調査地点 1 (0.051mg/L)、調査地点 2 (0.098mg/L)、調査地点 4 (0.056mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、この範囲にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1～4 度(カリン)、下層で 1～6 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 1～3mg/L、下層で 1～4mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 4.3～14 μ g/L、下層で 0.2～1.5 μ g/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成30年6月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	677
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	679
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	681
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成30年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.002	0.011
	2 (土)	0.003	0.010
	3 (日)	0.004	0.008
	4 (月)	0.005	0.009
	5 (火)	0.005	0.013
	6 (水)	(0.004)	(0.009)
	7 (木)	(0.006)	(0.01)
	8 (金)	0.006	0.011
	9 (土)	0.002	0.005
	10 (日)	0.000	0.003
別	11 (月)	0.002	0.005
	12 (火)	0.004	0.015
	13 (水)	0.003	0.009
	14 (木)	0.005	0.013
	15 (金)	0.001	0.004
	16 (土)	0.002	0.009
	17 (日)	0.003	0.010
	18 (月)	0.002	0.013
	19 (火)	0.010	0.023
	20 (水)	(0.002)	(0.004)
値	21 (木)	0.005	0.013
	22 (金)	0.006	0.022
	23 (土)	0.003	0.005
	24 (日)	0.002	0.006
	25 (月)	0.007	0.016
	26 (火)	0.006	0.016
	27 (水)	0.002	0.007
	28 (木)	0.003	0.008
	29 (金)	0.002	0.004
	30 (土)	0.004	0.009
有 効 測 定 日 数 (日)		27	
測 定 時 間 (時間)		677	
月 平 均 値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値の最高値 (ppm)		0.023	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成30年6月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.001	0.004
	2 (土)	0.001	0.004
	3 (日)	0.001	0.002
	4 (月)	0.002	0.006
	5 (火)	0.003	0.010
	6 (水)	(0.006)	(0.015)
	7 (木)	(0.004)	(0.005)
	8 (金)	0.010	0.027
	9 (土)	0.003	0.009
	10 (日)	0.002	0.003
別	11 (月)	0.004	0.009
	12 (火)	0.008	0.030
	13 (水)	0.003	0.020
	14 (木)	0.006	0.018
	15 (金)	0.005	0.025
	16 (土)	0.001	0.002
	17 (日)	0.001	0.003
	18 (月)	0.002	0.006
	19 (火)	0.009	0.040
	20 (水)	(0.005)	(0.008)
値	21 (木)	0.004	0.009
	22 (金)	0.008	0.051
	23 (土)	0.003	0.014
	24 (日)	0.000	0.002
	25 (月)	0.004	0.035
	26 (火)	0.007	0.027
	27 (水)	0.006	0.018
	28 (木)	0.008	0.027
	29 (金)	0.011	0.034
	30 (土)	0.011	0.037
有効測定日数 (日)		27	
測定時間 (時間)		679	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.011	
1時間値の最高値 (ppm)		0.051	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [平成30年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別	1 (金)	0.019	0.045
	2 (土)	0.018	0.035
	3 (日)	0.013	0.024
	4 (月)	0.022	0.040
	5 (火)	0.028	0.041
	6 (水)	(0.031)	(0.047)
	7 (木)	(0.022)	(0.036)
	8 (金)	0.031	0.059
	9 (土)	0.012	0.026
	10 (日)	0.007	0.013
	11 (月)	0.016	0.028
	12 (火)	0.022	0.040
	13 (水)	0.017	0.031
	14 (木)	0.030	0.060
	15 (金)	0.022	0.045
値	16 (土)	0.010	0.017
	17 (日)	0.011	0.024
	18 (月)	0.017	0.029
	19 (火)	0.035	0.048
	20 (水)	(0.01)	(0.032)
	21 (木)	0.014	0.050
	22 (金)	0.033	0.075
	23 (土)	0.026	0.044
	24 (日)	0.012	0.021
	25 (月)	0.029	0.056
	26 (火)	0.024	0.039
	27 (水)	0.009	0.019
	28 (木)	0.011	0.016
	29 (金)	0.012	0.021
	30 (土)	0.010	0.029
有 効 測 定 日 数 (日)		27	
測 定 時 間 (時間)		679	
月 平 均 値 (ppm)		0.019	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.035	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.075	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上 0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成30年6月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (金)	0.020	92.8	0.049
	2 (土)	0.020	92.6	0.039
	3 (日)	0.014	91.8	0.025
	4 (月)	0.024	91.8	0.045
	5 (火)	0.031	90.7	0.050
	6 (水)	(0.037)	-	(0.06)
	7 (木)	(0.027)	-	(0.041)
	8 (金)	0.041	75.7	0.083
	9 (土)	0.015	79.7	0.035
	10 (日)	0.009	76.8	0.015
別	11 (月)	0.020	80.9	0.036
	12 (火)	0.030	73.4	0.064
	13 (水)	0.020	83.5	0.051
	14 (木)	0.036	83.3	0.078
	15 (金)	0.028	81.1	0.070
	16 (土)	0.012	88.0	0.019
	17 (日)	0.012	89.3	0.027
	18 (月)	0.019	89.8	0.031
	19 (火)	0.044	79.9	0.080
	20 (水)	(0.014)	-	(0.04)
値	21 (木)	0.018	77.4	0.054
	22 (金)	0.041	80.2	0.090
	23 (土)	0.029	90.2	0.058
	24 (日)	0.013	96.4	0.022
	25 (月)	0.034	87.4	0.091
	26 (火)	0.031	78.7	0.066
	27 (水)	0.016	60.0	0.033
	28 (木)	0.018	57.2	0.043
	29 (金)	0.023	52.5	0.055
	30 (土)	0.021	46.6	0.051
有効測定日数 (日)		27		
測定時間 (時間)		679		
月平均値 (ppm)		0.024		
日平均値の最高値 (ppm)		0.044		
1時間値の最高値 (ppm)		0.091		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		80.3		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成30年6月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)	
日	1 (金)	0.015	0.020	
	2 (土)	0.016	0.023	
	3 (日)	0.016	0.026	
	4 (月)	0.017	0.025	
	5 (火)	0.016	0.022	
	6 (水)	(0.008)	(0.014)	
	7 (木)	(0.016)	(0.024)	
	8 (金)	0.028	0.043	
	9 (土)	0.022	0.032	
	10 (日)	0.012	0.027	
	別	11 (月)	0.007	0.015
		12 (火)	0.008	0.014
		13 (水)	0.007	0.011
		14 (木)	0.015	0.026
		15 (金)	0.015	0.020
16 (土)		0.008	0.011	
17 (日)		0.012	0.022	
18 (月)		0.007	0.014	
19 (火)		0.016	0.024	
20 (水)		(0.008)	(0.016)	
21 (木)		0.018	0.030	
22 (金)		0.026	0.036	
23 (土)		0.019	0.030	
24 (日)		0.018	0.026	
25 (月)		0.030	0.046	
値	26 (火)	0.023	0.037	
	27 (水)	0.014	0.021	
	28 (木)	0.015	0.024	
	29 (金)	0.009	0.018	
	30 (土)	0.012	0.015	
有効測定日数 (日)		27		
測定時間 (時間)		681		
月平均値 (mg/m ³)		0.015		
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.030		
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.046		
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成30年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別	1 (金)	0.7	1.5	NNE	NNE, CALM
	2 (土)	0.6	1.1	ENE	WNW
	3 (日)	0.6	1.2	WSW	WNW
	4 (月)	0.6	1.5	WSW	CALM
	5 (火)	0.4	1.1	ENE	CALM
	6 (水)	(1.1)	(1.9)	(ENE)	(NE)
	7 (木)	(0.5)	(1.4)	(WSW)	(W, CALM)
	8 (金)	0.4	1.0	W	CALM
	9 (土)	1.0	1.7	N, N	N
	10 (日)	1.4	2.8	E	ENE
	11 (月)	1.4	3.0	E	ENE
	12 (火)	0.7	1.7	N	NNW
	13 (水)	0.8	1.5	N	NNW, N
	14 (木)	0.5	1.3	ENE	CALM
	15 (金)	1.1	2.1	N	N
値	16 (土)	0.9	1.8	NE	NNE
	17 (日)	0.7	1.3	ESE	ENE
	18 (月)	1.7	3.1	ENE, NE	NE
	19 (火)	0.3	0.9	WNW	CALM
	20 (水)	(0.9)	(1.2)	(E)	(E)
	21 (木)	(0)	(0)		
	22 (金)	(0)	(0)		
	23 (土)	(0)	(0)		
	24 (日)	(0)	(0)		
	25 (月)	(0)	(0)		
	26 (火)	(0)	(0)		
	27 (水)	(0)	(0)		
	28 (木)	(0)	(0)		
	29 (金)	(0)	(0)		
	30 (土)	(0)	(0)		
測定時間（時間）		437			
月平均風速 (m/s)		0.8			
月最大風速 (m/s)		3.1			
月最多風向（16方位）		WNW			

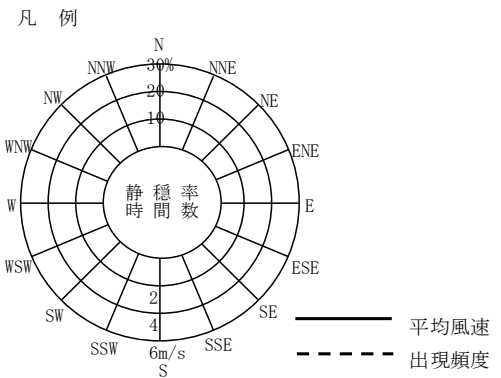
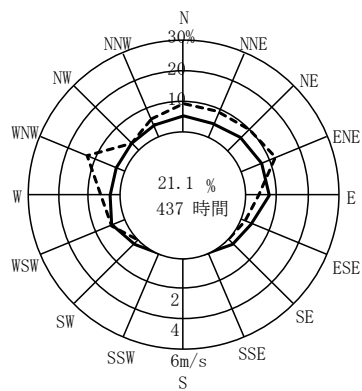
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成30年6月分]

方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	38	42	52	18	6	1	0	0	0	1	21	27	56	15	27	41	92	437
頻度 (%)	8.7	9.6	11.9	4.1	1.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	4.8	6.2	12.8	3.4	6.2	9.4	21.1	-
平均風速 (m/s)	0.9	1.2	1.4	1.5	0.7	0.4	-	-	-	0.4	0.9	0.6	0.6	0.7	0.8	1.1	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成30年6月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成30年6月分]

調査日：平成30年6月6日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻			8:37	8:10	9:10	10:05	9:45		-		-
透明度	[m]		1.8	1.8	2.3	1.3	2.0	1.3	～	2.3	1.8
水温	[°C]		20.1	20.2	19.1	20.5	19.9	19.1	～	20.5	20.0
			16.8	15.8	17.1	16.7	17.3	15.8	～	17.3	16.7
塩分	[-]		23.4	21.4	29.1	23.9	28.9	21.4	～	29.1	25.3
			32.4	32.0	32.5	32.5	32.5	32.0	～	32.5	32.4
濁度	[度(カリン)]		3	4	1	3	1	1	～	4	2
			3	3	1	6	1	1	～	6	3
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		3	3	1	3	1	1	～	3	2
			2	2	2	4	1	1	～	4	2
水素イオン濃度 (pH)	[-]		8.2	8.2	8.1	8.3	8.2	8.1	～	8.3	-
			7.9	7.9	8.0	7.9	8.0	7.9	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		4.0	4.2	3.1	3.1	2.9	2.9	～	4.2	3.5
			1.9	2.0	1.8	2.4	1.5	1.5	～	2.4	1.9
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	8.4	7.6	6.9	9.3	8.6	6.9	～	9.3	8.2
	飽和度	[%]	107	95	89	119	112	89	～	119	104
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.88	0.81	0.40	0.61	0.37	0.37	～	0.88	0.61
			0.38	0.37	0.26	0.33	0.27	0.26	～	0.38	0.32
全磷 (T-P)	[mg/L]		0.046	0.061	0.031	0.10	0.045	0.031	～	0.10	0.057
			0.051	0.098	0.037	0.056	0.020	0.020	～	0.098	0.052
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		9.2	11	4.3	14	5.1	4.3	～	14	8.7
			0.5	0.5	0.8	1.5	0.2	0.2	～	1.5	0.7

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
